



太陽光発電設備を低圧配電線へ系統連系するお客さまへ

太陽光発電設備における低圧パワーコンディショナ（低圧PCS）への 力率一定制御機能の採用について

低圧配電線に逆潮流有りで連系する発電設備等の増加により、配電系統の電圧上昇が懸念されております。この対策として、低圧パワーコンディショナ（以下、低圧PCS）は、力率一定制御機能を具備し、その力率値を95%とすることが系統連系規程（JEAC9701-2016 2017年追補版その1）に規定されております。

つきましては、太陽光発電設備を低圧配電線へ系統連系し逆潮流が生じる場合、系統連系規程に則り低圧PCSの力率設定をお願いいたします。

なお、ご設定いただいた力率や皮相電力（kVA）および出力（kW）については、「低圧配電線への系統連系技術協議依頼票」により、お申し出いただいた申請値で接続検討を実施いたします。

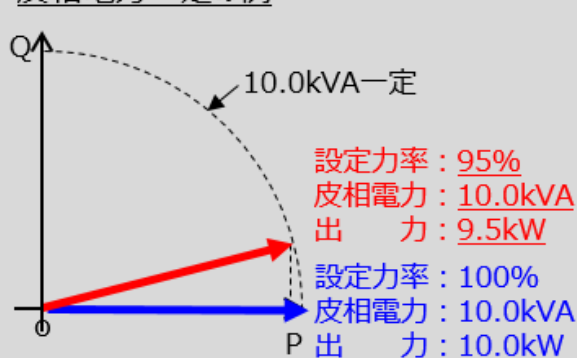
適正な電圧を維持するため、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

力率一定制御機能を有する低圧PCSは、下記例のような機能が採用されております。

（機種により異なるため、詳細はPCSメーカーさまへご確認下さい）

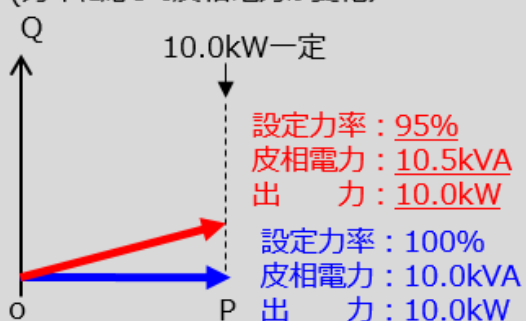
これらを確認するため、設定力率・設定力率における皮相電力（kVA）・設定力率における出力（kW）をご申請いただきますよう、お願いいたします。

皮相電力一定の例



有効電力一定等の例

（力率に応じて皮相電力が変化）



以上